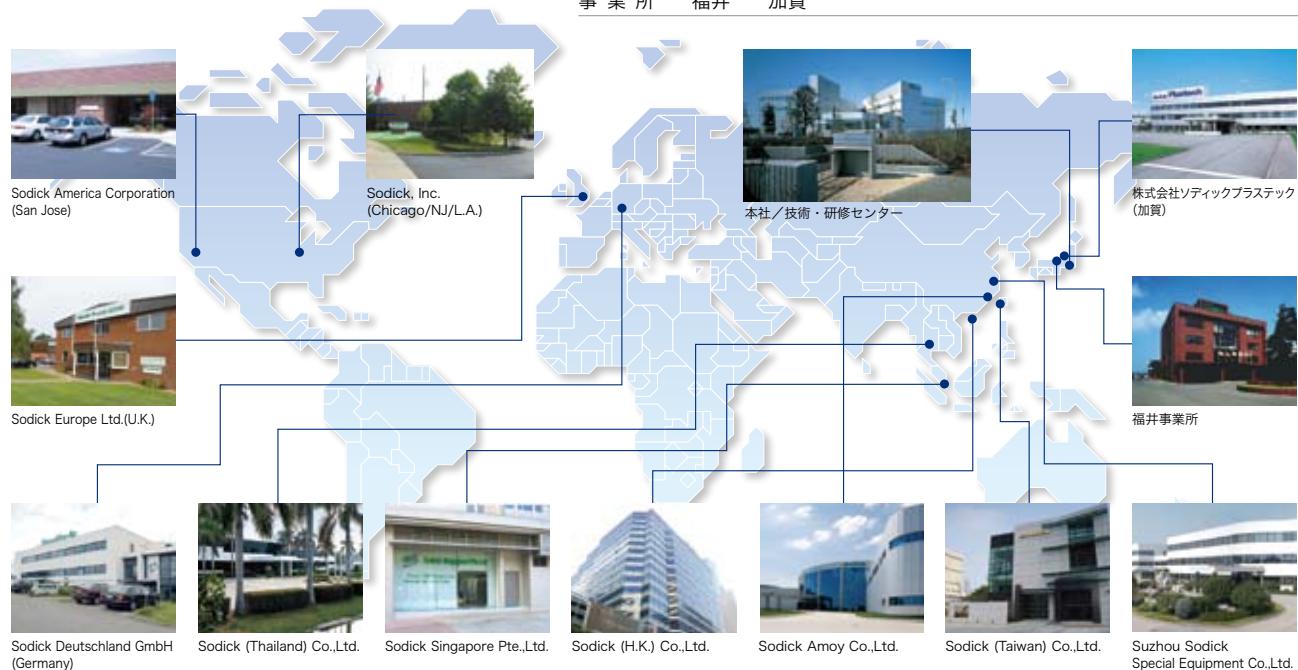


世界の主要拠点 (平成21年9月30日現在)

国内

本 社	横 濱						
営業拠点	仙 台	太 田	大宮(さいたま)	東関東(柏)	八王子	福 井	
	松 本	静 岡	名古屋	京 都	大 阪	岡 山	福 岡
事 業 所	福 井	加 賀					



Sodick
株式会社 ソディック

〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL : 045-942-3111
FAX : 045-943-5835
(証券コード: 6143)



●このカタログは FSC 森林認証用紙と大豆インキを使用しています。

ホームページのご案内

<http://www.sodick.co.jp/>

株主の皆様からの声をお待ちしております。

当社では、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。
お気軽に下記のメールアドレスまでお寄せください。

メールアドレス ir@sodick.co.jp



モバイルサイトのご案内

<http://www.sodick.co.jp/mobile>

展示会情報・サポート情報・ソディック製品にまつわる最新情報等を
随時更新しています。



第34期 第2四半期(累計)
事業報告書 平成21年4月1日～平成21年9月30日

Sodick

Business
Report

株式会社 ソディック

Sodick Corporate Highlights 2009.4-2009.10

展示会

EMO MILANO 2009に出展

10月5日～10日にイタリアのミラノ国際見本市会場で開催された、EMO MILANO 2009に出展いたしました。2年に1回開催されるEMOは、米国のIMTS、日本のJIMTOFと並ぶ世界最大規模を誇る工作機械の展示会であり、世界中の代表的サプライヤーが一堂に会します。当社は世界中から集まった工作機械ユーザーに向けて、放電加工機を始めとした当社の製品・技術力を紹介いたしました。



展示会

MECT 2009に出展

10月14日～17日にかけてポートメッセなごやで開催された、国内最大のFA技術専門展MECT 2009（メカトロテックジャパン2009）に出展いたしました。当社は放電加工機、マシニングセンタを始め、「サビレス」などの最新技術や近年注目の高まっている環境対応製品の紹介など、積極的な営業活動を展開いたしました。



左：サビレス機能使用
右：サビレス機能不使用

新製品

超精密微細領域でサブミクロンを越える安定した加工性能を発揮！
「リニアモータ駆動 超精密ワイヤ放電加工機 AP250L」

この度、超精密・超微細領域の加工でご好評をいただいている「APシリーズ」に新たに「AP250L」を加えました。超精密金型部品（高速デジタル・インターフェース用コネクタ、光学デバイス関連）や微小精密部品（医療・バイオ関連）など、最先端のものづくりの分野では“狙い値どおりの加工を安定して再現できること”が求められています。AP250Lはその加工現場のニーズにお応えする様々な特長を備えており、お客様の生産性の向上に貢献いたします。



受賞

日刊工業新聞社「09年（超）モノづくり部品大賞 日本力（にっぽんぶらんど）賞」受賞
ワイヤ放電加工機用 高性能リサイクルワイヤ電極線 e-wire

ワイヤ放電加工後に使用済みとなったワイヤ電極線を回収し、リサイクルしたワイヤ電極線 e-wire が日刊工業新聞社「09年（超）モノづくり部品大賞 日本力（にっぽんぶらんど）賞」を受賞いたしました。従来、放電加工で使用されたワイヤ電極線は産業廃棄物として処分する必要がありましたが、使用済みワイヤ電極線を e-wire として再生する当社グループのワイヤ循環システムは、お客様の産業廃棄物を処分する負担を減らし、環境へ配慮した企業活動に貢献いたします。



環境へ配慮した
企業活動に貢献

未来を創る

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第34期も上半期を終えましたが、振り返りますと当上半期は政府の景気対策の効果などもあり、昨年の米国のサブプライムローン問題に端を発した景気の悪化には歯止めがかかったような印象もありました。しかしながら雇用情勢は依然として厳しいものがありますし、個人消費も低迷しており本格的な景気回復段階に入ったとは言い難い環境でした。

当社グループの業績に大きな影響をもつ各種製造業におきましても、一部業界では在庫調整が進み、需要回復の兆しが見えてきはじめてきたものの予断を許さない状況であることには変わりありませんでした。

こうした経営環境の中、当社グループは、主要な子会社のひとつであった株式会社ソディックハイテックを当社に吸収合併するなど、大規模な組織の統廃合や経費見直しを行い、あらゆるコストの削減と組織の効率化に全社一丸となって取り組んでまいりました。また、需要環境の動向を睨みながら、将来の飛躍に備えてインドなど経済成長が期待できる新市場の開拓を進めつつ、既存の市場においては新製品・新技術を武器にシェアの維持・拡大に努めてまいりました。しかしながら当社グループを取り巻く厳しい経済情勢には抗しきれず、当第2四半期の連結売上高は154億63百万円、連結営業損失は26億70百万円となりました。

なお、当第2四半期の配当につきましては、今後、経営環境の急速な改善が期待できないため、誠に遺憾ながら無配とさせていただきますと存じます。

下半期も当社グループを取り巻く経営環境は、予断を許さない状況が継続すると思われま。先行きは不透明ではありますが、当社の社是である「創造」「実行」「苦勞克服」の信念の下、環境の変化に迅速に対応し、低水準の需要においても収益を確保し、株主の皆様に対し安定した配当ができるよう、早急に企業体質の転換を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 藤原克英

CONTENTS

Sodick Corporate Highlights	1
株主の皆様へ	2
当第2四半期（累計）の業績	3-4
特集 新たなソディックグループへ ソディックグループの取り組み	5-6

第2四半期（累計）連結財務諸表（要旨）	7-8
株式情報／株式分布／会社概要／役員	9
株主メモ	10

当第2四半期(累計)の概況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、在庫調整の一巡や政府の経済対策の効果により改善に向かうと期待されておりました。しかしながら雇用情勢や個人消費は依然として回復せず、生産活動については依然低い水準でした。

当社グループにおきましても、主力製品である放電加工機の仕向け先である金型業界の設備投資の抑制は継続しており、需要環境は低調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは前年から取り組んでおりますグループ再編や事業の見直しによる経営資源の最適化を引き続き進めるとともに、新興市場の開拓や世界的に関心の高まっている環境に配慮した製品の開発、展示会への出展など積極的な企業活動を展開し収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比154億54百万円減の154億63百万円(前年同四半期比50.0%減)となりました。利益面では、営業損失は26億70百万円(前年同四半期は3億96百万円の営業損失)、経常損失は28億32百万円(前年同四半期は5億54百万円の経常損失)、四半期純損失は25億51百万円(前年同四半期は19億87百万円の四半期純損失)となりました。

連結業績ハイライト



セグメント別概況

工作機械事業

売上高構成比



国内市場において設備投資需要は低迷しており、海外市場においては中国などの一部地域では回復傾向にありましたが、他地域においては国内同様厳しい環境で推移しました。上記の結果、当事業の売上高は96億96百万円となりました。

産業機械事業

売上高構成比



小型精密射出成形機の販売は、LED関連業界などでは設備投資需要が見られました。液晶パネルの検査装置用のXYステージの販売は液晶製造関連業界に需要がありましたが、当事業全体としては弱含みで推移いたしました。上記の結果、当事業の売上高は34億円となりました。

精密金型・精密成形事業

売上高構成比



当事業においては精密コネクタなどの精密成形品の製造を行っております。当期においては、主要な顧客である電子部品サプライヤー業界の需要が順調に推移しました。上記の結果、当事業の売上高は13億77百万円となりました。

食品機械事業

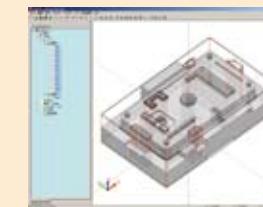
売上高構成比



食品機械事業は、各種製麺機、麺製造プラント、冷凍プラント及びトレーサビリティシステムなどの事業を展開しております。麺製造プラントの受注状況は順調でした。上記の結果、当事業の売上高は8億99百万円となりました。

その他の事業

売上高構成比



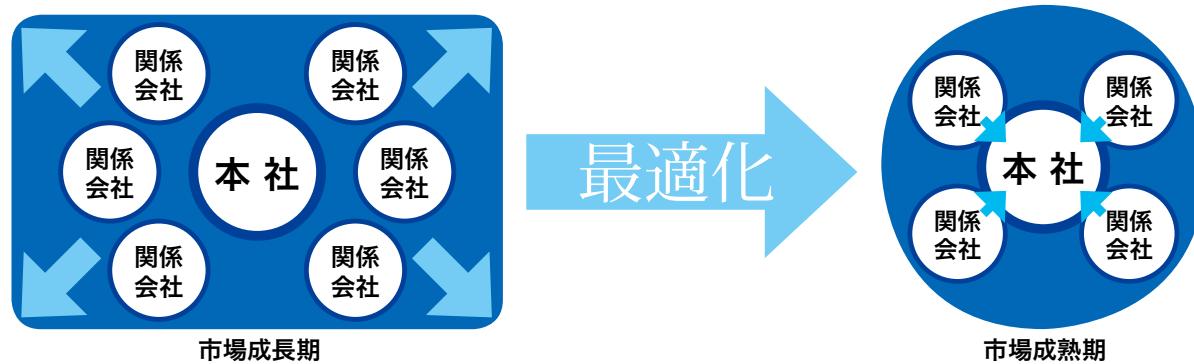
大型ファインセラミックスの製造販売及び金型生産統合システムは、精密機器向けの設備投資需要が低調に推移いたしました。上記の結果、当事業の売上高は1億30百万円となりました。

新たなソディックグループへ ソディックグループの取り組み

現在ソディックグループは、厳しい経営環境を克服し、株主の皆様のご期待にお応えするソディックグループとなり、将来の飛躍に備えるために、数々の施策を積極的に行っています。今回はその取り組みの一部をご紹介します。

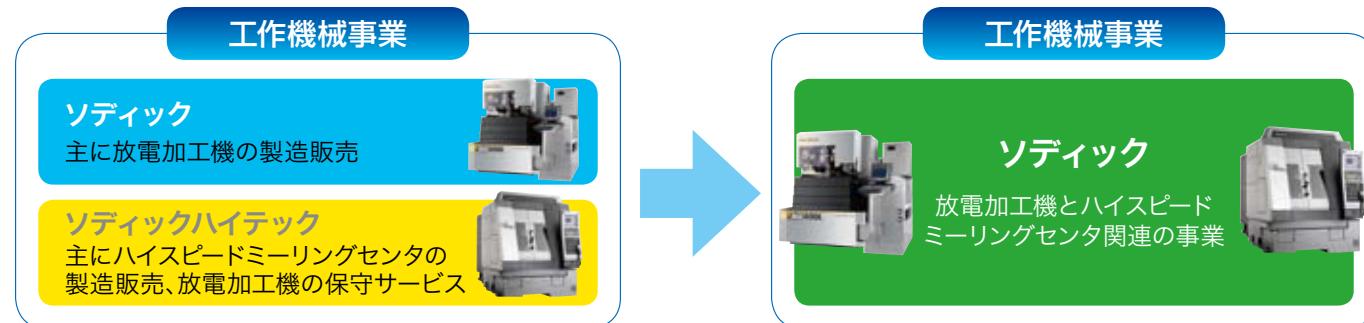
グループ経営資源の最適化

昨年の世界同時不況以降の工作機械市場は急激に縮小しています。その市場環境の変化に対応するため経営資源を集約し、事業の効率化を進め、収益力の向上に努めています。



○工作機械事業の一本化

工作機械事業を一本化するため、ハイスピードミーリングセンタの製造販売と放電加工機の保守サービスを主に行っておりましたソディックハイテックをソディックに吸収合併（平成21年10月1日付）いたしました。これにより放電加工機とハイスピードミーリングセンタを効率的にお客様にご提供できる体制が整いました。



○産業機械事業・食品機械事業の再編

ソディックプラスチック（JASDAQ 6401）は、産業機械事業（主に射出成形機の製造販売）を担当しております。この度、ソディックプラスチックが食品機械事業（主に製麺機械の製造販売）も新たに担当し、同社がもつ生産設備と人的資源をより有効活用し、積極的な事業展開ができる体制を整えました。

食品機械事業について

ソディックプラスチックでは、外部環境に左右されにくく、安定的な受注・生産が期待できる食品機械事業に注力しており、企画・開発から加工、搬入、メンテナンスまで幅広いトータルサポートを行っています。また、近年の食品分野では「食の安全性」が重要視されていますが、当事業においてもトレーサビリティシステム（生産工程の情報管理）の開発など、時代のニーズを捉えた事業展開を行っています。



Point

流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比100億3百万円減の412億94百万円となりました。経営改善計画の一環として、受取手形・売掛金の回収やたな卸資産の圧縮に努めた効果が表れた結果となりました。

固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比8億26百万円減の322億27百万円となりました。当第2四半期連結累計期間においては、経済情勢の悪化を受け、新規の投資額より償却額が上回ったため、全体としては減少いたしました。

負債の部

負債は、前連結会計年度末比86億87百万円減の482億62百万円となりました。経営改善計画の一環として有利子負債の圧縮に努めておりますが、特に短期借入金は前連結会計年度末比49億24百万円減少の231億88百万円と目立った効果が出ています。

四半期連結貸借対照表(要旨)

科目	期別 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成21年3月31日現在	当第2四半期 連結会計期間末 平成21年9月30日現在
資産の部		
流動資産	51,297	41,294
固定資産	33,053	32,227
有形固定資産	25,649	25,014
無形固定資産	3,507	2,976
投資その他の資産	3,897	4,236
資産合計	84,351	73,522
負債の部		
流動負債	42,809	35,338
固定負債	14,140	12,923
負債合計	56,950	48,262
純資産の部		
株主資本	27,288	24,731
資本金	20,775	20,775
資本剰余金	6,949	6,949
利益剰余金	1,698	△858
自己株式	△2,135	△2,135
評価・換算差額等	△1,721	△1,225
新株予約権	71	56
少数株主持分	1,762	1,697
純資産合計	27,401	25,259
負債純資産合計	84,351	73,522

四半期連結損益計算書

科目	期別 前第2四半期 連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
売上高	30,917	15,463
売上総利益	8,721	3,042
営業損失(△)	△396	△2,670
経常損失(△)	△554	△2,832
税金等調整前四半期純損失(△)	△657	△2,572
四半期純損失(△)	△1,987	△2,551

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別 前第2四半期 連結累計期間 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	565	4,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,064	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75	△6,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	40
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,489	△2,672
現金及び現金同等物の期首残高	19,781	18,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,292	16,021

Point

営業損失

営業損失は、前年同期比22億73百万円減の26億70百万円となりました。経済環境の悪化に対応するため人件費や旅費交通費、広告宣伝費などさまざまな経費を削減いたしました。売上がほぼ半減したため損失額が膨らむ結果となりました。

四半期純損失

四半期純損失は、前年同期比5億63百万円増の25億51百万円となりました。繰延税金資産の取り崩しがありましたが、一方、税金負担の軽減やデリバティブの評価益、貸倒引当金の戻入などもあり上記の金額となりました。

キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比37億24百万円増加の42億89百万円となりました。売上債権やたな卸資産の圧縮に取り組み、増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比45億27百万円減少の5億37百万円となりました。新規の設備投資を控え、設備の更新投資を中心に行ったためです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比63億90百万円減少の64億65百万円となりました。大きな支出としては、短期借入金の返済48億57百万円があります。

株式情報 (平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,432,510株
株主数	16,928人

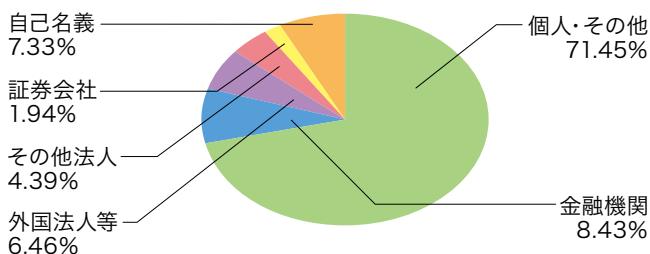
大株主 (平成21年9月30日現在)

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	3,920,371	7.33%
古川 利彦	2,345,975	4.39%
ノヴァラストカンパニー(エイブイアシー)サブアカウンタブルクライアント	1,049,500	1.96%
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59%
ソディック共栄持株会	829,200	1.55%
鈴木 正昭	726,260	1.35%
株式会社北陸銀行	700,000	1.31%

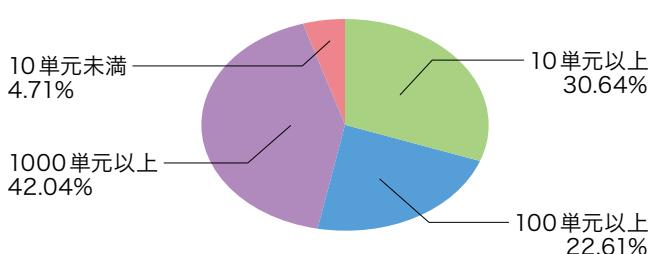
会社概要 (平成21年9月30日現在)

会社名	株式会社ソディック
所在地	本社 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 〒224-8522 TEL:045-942-3111(代表)
設立	昭和51年8月3日
資本金	207億7,575万6,958円
代表者	藤原 克英
従業員数	442人(連結2,793人)
連結子会社	30社
営業品目	NC形彫り放電加工機/NCワイヤ放電加工機/NC細穴放電加工機/特殊放電加工機および専用機(パレットチェンジャ、ロボットなど)/数値制御電源装置/放電加工機専用治具/ハイスピードミリングセンタ/ナノ加工機/生産統合システム/精密射出成形機/工業用セラミック/産業機械向けリニアモータ/その他電気加工装置/放電加工機用ワイヤ線/精密金型・精密成形品/電子部材/各種ソフトウェア/食品機械/委託研究および製品開発/その他

所有者別株式分布状況 (平成21年9月30日現在)



所有株式数別株式分布状況 (平成21年9月30日現在)



役員 (平成21年9月30日現在)

代表取締役会長	古川 利彦
取締役副会長	鈴木 正昭
代表取締役社長	藤原 克英
取締役副社長(欧米営業担当)	渡貫 雄一
取締役副社長(生産統括担当)	保坂 昭夫
常務取締役(国内営業担当)	松井 孝
常務取締役(亜細亜営業担当)	高木 圭介
常務取締役(カスタマーエンジニアリング事業担当)	唐戸 幸作
常務取締役(研究開発担当)	金子 雄二
取締役(国内営業副担当)	表田 俊二
取締役(生産技術・国内生産担当)	小林 繁
取締役(財務・経営企画・情報システム担当)	古川 健一
取締役(カスタマーエンジニアリング事業副担当)	久保 光宏
常勤監査役	楠 左衛治
監査役(非常勤)	小山 秋吉
監査役(非常勤)	大木 國男
監査役(非常勤)	下山 和人

※監査役のうち、小山秋吉、大木國男及び下山和人は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	6143
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.sodick.co.jp/ir/f.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が特別口座管理機関となっておりますので、下記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
○住所・氏名等のご変更 ○配当金の受領方法の指定 ○その他のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)

(*) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。